

表題	卒業回	氏名
第1集		
戸山の思い出	恩師	斎藤愛子
なつかしい戸山の思い出	恩師	佐藤雪子
卒業写真帖に寄せて	9	石田君江
戸山小学校の思い出	10	阿久津道子
忘れ得ぬ三人の恩師	11	陶山芳彦
回想	12	片岡駿明
戸山小学校のこと	12	坂口泰三郎
小学校の思い出	12	光永専一
私の思い出	13	靱山政子
私の思い出	13	小野澄子
小学校の思い出	20	光永慶吉
第2集		
戸山の思い出 (再録)	恩師	斎藤愛子
なつかしい戸山の思い出 (再録)	恩師	佐藤雪子
戸山時代から今日まで	恩師	平野平三
思い出深い戸山時代	恩師	乳井惣吉
卒業写真帖に寄せて (再録)	9	石田君江
戸山小学校の思い出 (再録)	10	阿久津道子
忘れ得ぬ三人の恩師 (再録)	11	陶山芳彦
安田孝平先生の思い出	21	等々力肇
同窓会への手紙	12	井上(比企)員敏
第3集		
六十年昔のこと	恩師	加太内蔵二
懐かしい戸山小学校の思い出	恩師	宮崎清子
心のふるさと戸山	恩師	原ミツ
長浜金太郎さんを偲んで	恩師	大原徳司
あの頃のこと	恩師	飯沼茂雄
戸山小学校の思い出	恩師	間根山正三
桜からつつじへ	2	中島保俊
小学校と郷土性	6	野辺地東洋
回想	12	片岡駿明
戸山小学校のこと	12	坂口泰三郎
小学校の思い出	12	岩永専一
通学路	13	大内力
思い出すままに	20	武田まり子
集団疎開の思い出	27	清水実
第4集		
三十六年前の戸山と私	恩師	幡野一郎
綴方教室	恩師	吉沢真
戸山の頃－先生列伝	恩師	木村茂夫
祈りをこめて	恩師	石丸さき子
四年間の思い出	恩師	渡辺茂
悲しき追憶	恩師	石井千恵
戦中戦後の頃のことなど	恩師	井上精一
戸山小学校の思い出	3	中野園子
アカハタと軍隊	11	山田正吾
大地震と一年生	11	遠藤健児
思い出すまゝに	15	深谷善清
五十年前の回顧	15	植松稔
サクラ読本から半世紀	21	小峰すすき
私の戸山	21	吉田耀子
詩と音楽	22	本澤忠男
大久保を考える	28	鶴田俊正
戸山の思い出	31	小原芙美江
事務局長交替のご挨拶	26	松平新太郎
第5集		
三十八年前を回顧して	恩師	深谷穆明

会誌「とやま」総目次

表題	卒業回	氏名
思い出すままに	恩師	加藤紀夫
戸山小の思い出	恩師	室賀敏子
戸山小学校の歩み		
思い出	4	小松崎澄江
開校六十五周年に寄せて	12	光永専一
大久保の思い出	14	安田三郎
思い出の記	18	佐藤淑子
小学校時代の思い出	19	渡辺東雄
同期会の回想	20	三竝貞雄
戸山小学校の思い出	22	本澤忠男
戸山の思い出	24	小山内テイ
忘るゝ間ぞなき大久保戸山	25	泊 懋 (つとむ)
戸山が原	26	古賀康正
戸山と私	26	小森昭宏
思い出	27	大関陽平
第6集		
戸山小学校の思い出	恩師	吉村日出
航空教室	恩師	吉沢真
大久保戸山の学び舎にいそしむ我等の誇りについて	校長	木村範男
思い出の記	5	高山英華
あの頃	8	衣川舜子
回想	14	竹中弘直
感謝	17	丹波正三郎
はるかになった戸山	18	遠藤英三
思い出すことなど	21	浦和宏之 他四名
わが故郷	37	道岡勝人
第7集		
回想	4	中村俊男
六十五年前を回顧して	9	山下清士
友だち	11	鈴木泉福
思い出	12	松尾節夫
大久保はなつかしい	13	水谷光雄
思い出すままに	14	高瀬八重
大久保の町を歩いて	15	須永貞子
郷愁	16	岸本純一
丸山先生の思い出	16	福永敏子
回想の戸山小学校	17	島田次男
わたしの戸山小学校	17	赤井チサト
外人屋敷にまつわる思い出	18	吉持健
ありがとう戸山小学校	18	安田泰子
戸山ヶ原の思い出	18	永井華子
ふるさとに想いをよせて	19	宮沢照代
戸山周辺の地名	20	沢村良二
旧校舎の夕日	22	永井建雄
戦災のことなど	24	金沢浜子
一つの思い出と砂川先生のことなど	25	柳沢肇
思い出の記	26	渡辺洋望
第8集		
皆中稲荷のこと	6	野辺地東洋
戸山の思い出	12	緒方研二
思い出はかげろうの如く	14	江野下義人
戸山小学校の思い出	17	泉敬子
心の故郷“戸山”	18	安部光雄
戸山ヶ原の風	18	吉持健
戸山ヶ原、三角山	19	称原雅子
小学校時代の思い出	20	稲田光正
一言片句	20	平野官爾
心の充実	23	竹尾信行

会誌「とやま」総目次

表題	卒業回	氏名
大久保懐かしマップ	23	渡辺稔
戸山国民学校の頃	24	加藤眞一郎
両親のこと	24	吉田君子
私の小学校時代	25	大島芳材
昭和十七年回顧	25	柳沢肇
わが初舞台の記	25	荒木郁
戸山の思い出	26	細田勝
戸山小学校雑感	28	福嶋秀隆
第9集		
69周年に想う	校長	前川敏郎
思い出	5	老本峯子
新大久保駅ができた頃	6	箕輪圓
郷愁の戸山小学校	12	片岡駿明ほか
戸山ヶ原の四季	13	宮田達郎
つれづれの記	14	水村次郎
戸山ヶ原のひとだま	14	大石三郎
残紅余映	15	山尾泰造
「戸山」－ふるさと	16	大野稻三
大久保の町が燃えている	18	吉持健
なつかしい戸山小学校	20	加藤健三
戸山ヶ原の人さらい	20	森 洋
忘れ得ぬ日々の思い出	24	羽部賀子
思い出	25	大久保斤二
思い出	26	久重道夫
第10集		
戸山小学校七十周年と同窓会	13	大内力
開校七十年に想う	校長	前川敏郎
戸山のルーツをたずねて	6	野辺地東洋
集団疎開について	15	加藤紀夫
つつじ会十周年に想う	26	松平新太郎
第11集		
疎開生活－涙と笑い（土浦）	恩師	渡辺茂
空襲	恩師	浅野菊江
古希を迎えての戸山時代を想う	14	原正夫
ヨク学ビヨク遊べ	15	荒木元
歩いてきた道をふりかえって	17	遠藤英子
集団疎開の思い出	17	加藤仲子
戸山小界限そぞろ歩き	18	石井甫
二つの恐ろしかった出来ごと	18	吉持健
戸山ヶ原	18	大庭田鶴子
懐かしき日々	18	長田佳子
戸山が原	20	武田まり子
ドーリットル空襲	25	日高為昭
「たわごと」	25	竹安和雄
第12集		
あー、校舎が火だるまに	恩師	市川恭子
思い出すままに	恩師	糸保太郎
思い出すことなど	恩師	岡村昇
戸山－心のふるさと－	恩師	縣素生
懐かしい戸山小学校	恩師	上福元明
忘れられない歌	11	山田正吾
中里先生の思い出	12	町村鉄雄
四人の恩師	13	大内力
戸山の思い出	14	武田昌信
小学校の思い出	14	古賀卓郎
記念日	16	津田保彦
思ひ出ざるまゝに	16	阿部綾子
あの日、あの時	17	服部芳子

会誌「とやま」総目次

表題	卒業回	氏名
小学生の頃	18	神津勇
おもいのまゝに	18	青木文子
思いでを尋ねて	18	永井華
校庭の桜	18	百瀬美津子
思い出の一こま	18	山田さかえ
片瀬先生のことども	19	岩本洋
昭和時代の終焉	20	稲田光正
ショーベースのこと	20	光永慶吉
心にうかぶまゝに	20	青谷清
思い出すままに	22	安盛都子
魂の故郷を想う	23	倉員富美子
思い出すままに	24	荒井昭一
思い出	25	福井敏子
戸山の思い出	25	川越美江子
在学六ヶ月の卒業生	26	桑昌利
思い出の記	26	森田利満
私の昭和二十年―二十一年	26	植村孝男
感謝いっぱい集団疎開	27	永山義夫
思いつくまゝに	27	宮本鈴
とても怖い顔	30	橘川元彦
戸山ヶ原・朝風と焼け跡と	32	石田光基
思い出	35	相馬久子
おかしな鳴く虫たち	37	松浦肇
第13集		
集団疎開での心の奥に残るもの	恩師	石井千恵
思い出	4	竹下恒雄
戸山小学校の思い出	5	高山英華
戸山小学校の校章について	5	村岡忠孝
大正時代の暮し	6	永谷岩男
百人町界隈	6	織内信彦
懐かしい思い出	6	前田志津子
七十余年前	7	小野富美
戸山小学校時代の思い出	7	廣居ひで
通学路	8	衣川舜子
大久保戸山の学び舎	8	和泉俊子
「昭窓会」のことども	9	大谷寿太郎
関東大震災	9	山下清士
戸山小学校の思い出	9	上島宣子
若き頃の同窓生の集い	10	宮村攝三
思い出すまま	10	阿部順子
戸山小学校の思い出	10	戸叶祥子
思い出	10	松田恵美
戸山小学校時代を思う	10	丸井千代
わが忘れ残りの記	12	室谷静子
恩師と友人の思い出	13	須藤卓郎
昔はみんなみんな優しかった	15	下村満代
思い出の戸山小学校に寄せて	16	加太玉枝
御大典	16	津田保彦
思い出すまゝに	18	村瀬貞子
運動会の思い出	18	荒木梁
思い出の二つ三つ	18	山田宜子
亡き先生と亡き先輩	18	松丸慶子
笹の思い出	20	八里知隆
私の故郷は大久保百人町	20	吉本精子
戸山ヶ原と戸山小学校	21	佐藤寿恵子
先生の寄せ書に思う	22	本澤忠男
戸山ヶ原と山の手線	23	安村重昭
大原先生の思い出	25	長瀬久雄

会誌「とやま」総目次

表題	卒業回	氏名
幸せのアンダンテ・カンタービレ	27	北澤喜三子
第14集		
思い出すままに	11	小林ヒサ
なつかしの母校	12	吉川充雄
戸山小学校思い出の友	13	近藤矩雄
古きよき日々によせて	13	望月田鶴子
追憶のひと	14	丹波泰弘
昭和のはじめの日本	15	若月不二男
あゝ中里先生	15	住友房子
一枚の地図	16	渡辺明
戸山ヶ原の餓鬼大将	17	新庄東一
幼い頃の心の中	18	羽田美音子
思い出	20	相田龍平
ふるさとは 遠きにありて	20	須山正道
淡い思い出	20	樋口淑子
第15集		
戸山小学校七十五周年に寄せて	会長	大内力
開校七十五周年を迎えて	校長	安藤正男
地図作成を想う	12	光永専一
「懐しの写真帖」の制作が終って	18	吉持健
懐しの写真帖		
事務局だより	20	三竝貞雄
同窓会発足十五年を迎えて	26	松平新太郎
第16集		
あいさつ	会長	加藤紀夫
戸山小七十五周年を振り返りながら	校長	安藤正男
校歌・応援歌・団歌のこと	12	光永専一
「回顧」REFLECT・ON	16	小山房二
六年生の友達	18	鳴島和子
思い出すまゝに	18	松本武子
子供の頃の勘違い	18	吉持健
戸山尋常小学校追憶	19	平野達吉
人生はマラソンレース	20	小泉具昭
遠藤・尾原両氏を悼む	20	武田まり子
ノモンハンを訪れて	25	森田勉
二階の窓より	26	立野成子
卒業名簿にない「卒業生」	27	中島順
セピア色写真四枚＋カラー一枚思い出場面を描き出す	28	柏村茂
思い出の地図作成委員会からの報告	12	光永専一
「懐かしの写真帳」一部印刷手違いについてお詫び	18	吉持健
同窓会新会員歓迎会に立ち合って	25	柳沢肇
創立七十五周年を終えて(会計報告)	20	三竝貞雄
第17集		
同窓会に思う	校長	帆足勝利
戦死された担任の丸山先生	16	村上ケイ子
戸山ヶ原の思い出	17	新庄東一
自然と共に	18	武田一男
お昼休み	18	大庭田鶴子
宝ものとなった地図	18	佐藤淑子
戦後五十年も経たけれど	20	篠原美代子
シベリヤ雑感	23	等々力進
戸山小学校歌の一考察 “自治の旗”をめぐって	25	柳沢肇
集団疎開の憶い出	27	清水実
集団疎開生活の記録 (おこん立て)	27	稲垣慶子
戸山小での思い出	77	中川晃一
出会い	77	麻生陽子
いそがしい毎日の中で	77	團野小浪
第18集		

会誌「とやま」総目次

表題	卒業回	氏名
あいさつ	会長	吉持健
小学校先生の方言	6	野辺地東洋
我が故郷は大久保地図	15	鈴木隆
思い出すままに	18	見上好永
石仏写真の個展を終わって	18	守屋哲雄
戸山小学校をめぐる回想	20	三竝貞雄
五十年前頃のあれこれ	20	篠原美代子
星マークの「彩雲」東京湾を飛ぶ	20	竹内栄次
曙光	25	鈴木文男
仁平貢先生の戦死に思う	26	松平新太郎
目標をたてることは大事なことだ	78	伊藤希望
友と過ごした足柄で	78	白川友香
戸山中に入学して	78	斉藤慧一
新しい学校生活の中で	78	宮元健太郎
加藤前会長を偲んで	会長	吉持健
第19集		
同窓会に寄せて	教頭	甲野恵美
一年をかえりみて	会長	吉持健
我が家の卒業生は十人	14	水村次郎
思い出すこと。今、思うこと	16	塚本静子
つれづれなるまゝに	18	二木希治
兄、鮎川信夫のこと	18	上村章子
どうなってるの	22	本澤忠男
一枚の写真から	23	加藤俊次
同期旅行会	26	坂庭弘子
電話対談 子供のころの生活を語り合いましょう	28	廣田美子、柏村茂
力を合わせて	79	豊田悠也
中学校生活	79	清水威斗
戸山小とその仲間たち	79	竹内麻里
第20集		
戸山小学校開校八十周年を迎えて	会長	吉持健
開校八十周年の戸山小に着任して	校長	佐藤勇作
戸山小学校八十周年に寄せて	13	大内力
母校の創立八十周年に寄せて	12	光永専一
子ども達(児童)と父母と教師と	恩師	間根山正三
小さな同窓会・大きな同窓会	恩師	浅野菊江
私の勤めていたころ	恩師	岡村昇
わが青春の戸山小	恩師	縣素生
同窓会幹事を引き受けて	14	竹中弘直
激動の八十年	15	植松稔
八十周年に思う—戸山の自治の精神—	16	岸本純一
丹波哲郎の霊界状況研究	17	丹波正三郎
八十周年を迎えて	17	新庄東一
戸山小開校八十年に思う	17	加藤仲子
八十周年に際し教育制度について思うこと	17	服部芳子
心に生きつづける戸山小学校	18	見上好永
戸山小学校の思い出	19	重田とみ
とやま時代を振り返って	20	三竝貞雄
南、大和君 豊島さん 時枝・垣内・芦田先生	21	等々力肇
追悼 平野平三先生	22	本澤忠男
戸山小時代を振り返って	22	柳生操
大久保戸山の学び舎に	23	加藤俊次
古稀同期会に思う	23	渡辺稔
半世紀前の思い出話	24	荒井昭一
戸山小学校同窓OB会に出席をして	25	長瀬久雄
戸山小学校に学んで	26	原田和郎
ガードの見える風景	26	能登勇
絵日記抜粋	32	小平靖

会誌「とやま」総目次

表題	卒業回	氏名
兄弟姉妹を思い出すままに	35	平山嘉代子
あの頃	37	道岡勝人
思い出	52	本橋弘美
新たなるスタート	80	丸洋平
初めての同窓会	80	仁平智子
そしてみんなは新しい出発	80	花田友里
第21集		
卒業式に参加して	会長	吉持健
戸山公園と子どもたち	教諭	大石京子
文化功労者 藤田恭平さん	16	日下部恵子
谷川岳早春（寄贈画）	16	村上ケイ子
丹波哲郎の霊界状況研究つづき	17	丹波正三郎
昔の子ども 今の子ども	18	守屋哲雄
思い出	19	長井三枝子
戸山三代	22	本澤忠男
思い出すままに	22	平山鈴子
四季の詩（寄贈画）	22	中川千代子
母校が無くなった	22	本澤忠男
思い出	23	越原誠
幻の修学旅行の実現	24	松永正秀
神佛混交の修学ご一行様はいく	24	植垣惣次
子どもの心	25	大島芳材
遠い日の横丁	26	好井基祐
戸山小学校時代の生活と私の野球	26	田中孝一
戸山小学校の思い出	81	山根法子
成長の足跡	81	花木晴加
小学校の思い出	81	秋山富裕花
第22集		
平成十二年度の戸山小の教育活動	校長	佐藤勇作
同窓会に思う	会長	吉持健
私の青春	15	若月不二男
『PASS WATER』	15	下村満代
数学と私	16	吉原春
吾が青春（学校編）	17	新庄東一
今が青春	17	加藤仲子
私の青春	18	守屋哲雄
校歌と団歌と応援歌	18	吉持健
著書紹介	20	三竝貞雄
六十年目の通学路	22	本澤忠男
回想あれこれ	23	植村恒喜
いろはカルタ考	24	室賀弓槻
戸山が原のあさかぜ	24	原田繁男
青春について	24	金沢浜子
啄木の歌と子供の心	25	大島芳材
「青春」の幻像をひきずって	25	柳沢肇
恩師の回想	26	細田勝
戸山国民学校の思い出	26	森田利満
私の青春－戸山の思い出	26	阿部貢三
卒業五十五年目の夏を迎えて	27	清水実
生涯“青春”で	28	田中博子
青春の戦い	28	原田静雄
戸山から始まったわが青春	36	勝俣仁男
ぼくにとっての戸山小学校	82	丸山祥治
戸山小の思い出	82	宮脇香純
机がとても小さく見えた同窓会	82	中山江利華
第23集		
二十一世紀スタートの戸山小に着任して	校長	斎藤實
あいさつ	会長	新庄東一

会誌「とやま」総目次

表題	卒業回	氏名
まちかどの教育	恩師	佐久間英明
大正の終り頃から昭和の初めにかけて	12	光永専一
老後のたのしみ	16	新納ひさ
吾が青春（就職編）	17	新庄東一
私の語学独習	18	遠藤英三
「あなたの教室はどこでした」	23	加藤俊次
思い出すことなど	23	三森久子
寄り道	24	中沢絢子
思い出・雑々	26	竹尾雄治
二十一世紀と共に古稀	26	蟹澤厚子
昨年（平成十二年）に起った偶然な四つの出来事	27	丸木眞二
戦争を知らない世代のキミへ	28	柏村茂
アメリカと私	29	森謙治
思い出	33	乾松雄
楽しい思い出ばかり	38	飯島洋
私の戸山小学校時代	42	盛口誠司
新入会員同窓会に参加して	83	藤川莉那
みんなでやってきた事	83	阿武詩織
戸山小学校のおもいで	83	金子美保
第24集		
内田留里子さんとの友情	15	垣花秀武
語感を大切に	16	岸本純一
近頃思うこと	17	服部芳子
骨粗しょう症と偏頭痛	18	吉持健
私の旅日記	21	植村宣公
母校戸山小学校のあゆみ	23	加藤俊次
百歳まで生きてみよう	24	野口輝美
私とつつじ	25	三田陽一
恩師米寿のお祝いの会	26	鈴木和子
学童疎開の思い出	28	中山貞夫
戸山小での思い出	84	宮脇香絵
二番目の思い出	84	北城舞子
第25集		
ごあいさつ	会長	加藤俊次
八十五周年を迎えて	校長	斎藤實
戸山一わが誇り	恩師	縣素生
声に出して読む	恩師	古屋甚一
万物流転－戸山小学校と大久保の町	13	大内力
文化勲章を戴いて	16	藤田喬平
引退の言葉『有り難うございました』	17	新庄東一
つつじ園 始末記	22	本澤忠男
むらさきの夢	18	吉持健
思い出すままに	23	小丸伊久雄
記念号の表紙を描かせていただいて	24	大野録郎
思い出のベルリン	24	金沢浜子
交流の大切さ	24	荒井昭一
小学校時代の思い出	25	大久保斤二
あれこれ 今昔物語	26	好井基祐
七十代の挑戦、落選一、当選二のお話	26	立野茂子
大久保を空襲した米陸軍爆撃機	26	中川輝彦
私の「とやま」	26	宿谷幸之助
戦争と共に過した小学校時代	28	鶴田俊正
野球に明け暮れた戸山小学校時代	33	針ヶ谷純吉
同窓会出席率アップ大作戦	36	高橋立行
ささやかな夢実行へ	37	岸詔夫
戸山小学校を卒業して	85	篠原真理沙
同窓生	85	市川夏帆
戸山小学校を卒業して	85	石野清人



会誌「とやま」総目次

表題	卒業回	氏名
第26集		
開かれた学校として	教頭	近藤和恵
はしがき	会長	加藤俊次
三十八年前を回顧して (再録)	恩師	深谷穆明
ア一、校舎が火だるまに (再録)	恩師	市川恭子
エレジー 戸山が焼けた日	22	本澤忠男
夢	17	泉敬子
私の故郷	18	篠崎禮子
ケアハウスに住んで	18	見上好永
夢のあとさき	22	本澤忠男
思いつくままに	23	藤本正夫
我が人生すべて半痴愚	23	篠原一郎
七十五歳の夢	24	福村豊
四年生の夢	25	大関治明
夢	25	関口博子
卒業六十周年記念同期会	26	松平新太郎
夢	26	古賀功
変った街、変らぬ街	26	近藤常恭
戸山小望郷	36	望月一己
今日このごろ考える事	37	櫻井為公男
小学校の思い出	86	稲山由夏
これからのこと	86	桑原健太
第27集		
戸山小の光は永遠に	副校長	茂呂彰
老いのくりごと	13	大内力
ああ同級生	14	竹中弘直
戦後百年	15	植松稔
戸山炎上の絵を見て	17	新庄東一
「よろこび」について	17	服部芳子
内田星美のこと	21	等々力肇
戸山小学校の思い出	22	田川久子
喜びそして思い出	23	登山昌昭
『思い出』めぐり逢った人々	23	山内祐子
満州逐鹿から六十年	24	水嶋都香
日本でどこにあるの？	24	福田文子
終りの旅	24	金澤幸雄
戸山小の頃	25	石塚敏弘
百人町二丁目	25	酒井益代
私と相撲との かかわりあい	26	細田勝
“生活習慣病” 雑感	26	渡辺洋望
消えた灯火 (ともしび)	26	西村六郎
とやまと私	26	山本俊彦
よろこび	26	鳥居美恵子
二十六回生同期会の報告	26	蟹澤厚子
日々のよろこび	26	田中幸江
縁故疎開	33	渡辺友晴
サムエル・ウルマンの「青春」の詩を読む	36	野尻昌孝
よろこび	37	櫻井為公男
卒業式の涙	87	堤香織
戸山小学校を卒業して	87	梅津理花
第28集		
同窓会誌に寄せて雑感	校長	和田美知男
「第九」の合唱	17	泉敬子
勿体ながら	18	大庭田鶴子
人間魚雷「回天」と「宇都宮秀一」先輩のこと	21	渡邊明雄
区報『燃える母校』顛末	23	加藤俊次
戸山小学校の思い出	23	鬼頭當子
先生を想う	24	小丸久仁雄

会誌「とやま」総目次

表題	卒業回	氏名
設楽貞先生のこと	25	柳沢肇
なぜ東京の焼け跡で米はできなかったか	26	古賀康正
痛みをのりこえて	26	須黒麗子
私の戸山	29	森玲子
疎開の思い出	29	安斎美篠
タクシー日記	29	望月信彦
ホノルルマラソン・ヨレヨレ完走記	34	川野豊武
デザインとは 一言メモ	37	櫻井為公男
私の担任のY先生	88	平井悠美子
ありがとう、戸山小学校、そして友達	88	長谷川真子
六年生の思い出	88	西山沙織
第29集		
六年生の思い出	15	成田星子
ゲルニカ	19	重田とみ
戸山小学校の思い出	20	加藤健三
二十世紀から二十一世紀へ	20	澤村良二
教育と年齢制限（在校生へのお願い）	23	稲垣直
戸山ヶ原	23	倉員富美子
私の健康法	24	加藤眞一郎
いのち	24	松平ふち子
いのちが一番輝いた日	25	泊懋（つとむ）
「いのち」を楽しむ	25	三田陽一
思い出日和	26	好井基祐
思い出の一番ならぬ三番	26	細田勝
我が心の翳り	27	平野久
紅顔の美少年・美少女は老境に	28	鶴田俊正
ご近所のむかし“戸山が原”の西戸山地区と周辺	32	石田光基
『美しい国』	33	針ヶ谷純吉
「いのち」を想う	34	古賀喜博
五十年振りの顔逢わせ	34	白杉政昭
いのち	36	岡野安雅
明治生まれの母を平成に見送る	36	勝俣仁男
道路に人生あり	37	櫻井為公男
空を飛んでる	38	飯島洋
戸山小学校の思い出	38	盛口全太
いのちって何	46	大原守人
第30集		
開校九十周年を迎えて	会長	加藤俊次
九十周年を迎えて	校長	和田美知男
安田孝平先生の逝去	恩師	山本藤雄
私のみた戸山ヶ原跡・六十年ぶりの道	恩師	市川恭子
栄光の戸山小	恩師	縣素生
マンモス校の時代	恩師	古屋甚一
忘れられないあの先生	PTA	関口純夫
大正から昭和への六年	9	小玉正雄
戸山小学校と我が家	17	加藤仲子
戸山小学校の思い出	17	新庄東一
思い出すこと	18	遠藤英三
原先生との出会い	21	小峰すすき
安田孝平先生の思い出	21	等々力肇
一つだけ覚えていた事	22	小池玲子
小学校は人生双六の振り出し	24	伊藤美里
思い出 アレコレ	24	内田和也
しあわせなとき	24	中沢絢子
戦争をしない日本	24	下田柏一郎
西大久保三丁目の小路	25	島方重泰
戸山小沿革に思う	25	柳沢肇
赤いリボン	26	誓齋豊明

会誌「とやま」総目次

表題	卒業回	氏名
戸山小学校前に住み着いて六十二年	32	小平靖
戦後まもない頃の戸山小時代	33	齋藤建治
戸山小と私	33	宮澤ミハル
つれづれの記	37	櫻井為公男
九十周年によせて	43	新倉康夫
女神湖の思い出	90	西村菜海
第31集		
ご挨拶	会長	荒井昭一
諸塾の寸描（書は悟入の境地で）	恩師	古屋甚一
文化往来★島崎藤村旧居跡★小泉八雲記念公園		
ひとりごと	17	遠藤英子
エコ君は僕の心友です	24	植垣惣次
思い出すままに	24	小林政子
教育勅語の思い出	24	森 稔
特攻隊 空に散る	26	立野成子
中高年者の健康のために	26	渡邊洋望
エコと思い出	28	中山貞夫
鎮魂の詩（学童疎開の思い出）	29	竹内賢一
楽しい短歌（自然界は素晴らしい!）	37	岸詔夫
カナダに暮らして	38	佐藤久美子
六年間の思い出	91	須田聡美
戸山で結ばれた絆	91	川瀬澄也
第32集		
同窓会の皆様へ	校長	永山泰雄
多文化共生の授業から	副校長	堀江昌代
同窓会イベントに出演して	39	平井光子
短い間の大きい幸せ	92	市川汐奈
戸山の教え!	92	横田悟
エコ雑感・強制疎開異聞	24	野口輝美
あの頃の事	33	秋田清子
大久保・百人町今昔・・・タモリさんと語る	26	朝倉英一
私の人生	20	篠原美代子
ブラボー傘寿の二十四回生・・・ディズニーシーで同期会	24	伊藤美里
楽しい短歌（自然界は素晴らしい!）	37	岸詔夫
集団疎開での心の奥に残るもの	恩師	石井千恵
集団疎開の思い出	27	清水實
学童疎開の思い出	28	中山貞夫
第33集		
同窓会の皆様へ	副校長	清澤和人
学童疎開地の訪問ツアーの中止について	28	中山貞夫
懸念される戸山小学校同窓会の存続	24	加藤眞一郎
屋号の探検	33	中村進一
戸山の思い出	91	木村桂祐
私の宝物	93	寺本清香
思い出と共に	93	元村理乃
大久保・百人町の急激な韓国化について	37	佐竹幸一
今、新宿という環境に思うこと	37	櫻井為公男
戦後十年間に固めた覚悟	24	下田柏一郎
文化往来★林芙美子記念館へどうぞ		
第34集		
同窓会の皆様へ	校長	永山泰雄
激動の時代に生かされて	24	森 稔
「絆」の原点	28	安井一郎
文字を書く大切さ	25	大島芳材
戸山小校歌の一考察	25	柳沢肇
「癒やしの時間」あの椅子でもう一度	33	大八木秀恭
息子の卒業式に寄せて	PTA	福田薫
私の出身地（ふるさと）はどこ?	37	田中稲生

会誌「とやま」総目次

表題	卒業回	氏名
百人町の歴史	67	永谷泰一
三十七回生だより！	37	櫻井為公男
昭和十九年六年生までの思い出の記	27	小坂正之
文化往来『佐伯祐三アトリエ記念館』へどうぞ		
第35集		
同窓会の皆様へ	副校長	清澤和人
移り変わりの早い時代の中で	PTA	早川美奈子
二つの学童疎開	29	宿谷健三
戸山が原で日本初のヒューキが飛んだ？	26	古賀康正
恩師との思い出をたどって	25	渡邊静子
私の「とやま」そして	25	竹安和雄
ムールギーカレーとアンチェインド・メロディー（テスト曲）	33	大八木秀恭
昭和十九年六年生までの思い出の記	27	小坂正之
「やらない」と「できない」	95	廣澤萌美
バスクラ	95	郡マキ
文化往来 中村彝アトリエ記念館		
第36集		
よろしくお祈りします	校長	山崎涼二
消えゆく戸山小学校同窓会を救って下さい！	24	加藤眞一郎
敬老の日	25	三田陽一
東と西の戸山が原・ぼくらの戸山が原	26	古賀康正
昭和を声で描写し続けた志村正順アナ	33	針ヶ谷純吉
琥珀のざわめき・ユーラシアン	33	大八木秀恭
私と桜	96	中尾知恵子
プール	96	新部汐音乃
第37集		
同窓会の皆様へ	副校長	福井みどり
会員の皆様へ	会長	荒井昭一
同窓生の皆様へ	恩師	篠原美代子
親子二代の戸山小学校あれこれ	42	小室洋
カマボコのある町と恐怖の山番	26	古賀康正
陸軍大久保射撃場について		編集部
ふりかえる戦後七十年 戸山ヶ原、みどりと炎の記憶	32	葉満田貴久子
忘れられない思い出の日々	97	中島泉
小学校	97	早川翔
第38集		
開校百周年記念にむけて	副会長	中山貞夫
大切なもの	98	吉田愛実
世界に響け戸山から！友だちのハーモニー	40	長谷川冴子
戸山小学校関係の著名人	21	等々力肇
同級生たち	26	古賀康正
私と満州	24	水嶋都香
昭和のこども	24	内田和也
生きとし生けるもの 東京大空襲とわたし	37	櫻井為公男
思い出写真館		編集部
さがしています		編集部
第39集		
戸山小学校の思い出	44	三枝徹
開校百周年によせて	43	新倉康夫
戸山小学校の友達	45	田河渉
小学校の思い出	99	高杉優衣
戸山小学校を卒業して	99	佐藤瑠香
仰げば尊し	26	古賀康正
思い出写真館 三角山、射撃場		
同期会だより 26回生、42回生		